

1. 目的

東京2020大会のサッカー及びバスケットボールの開催会場である本市には、メディアを通じて世界の注目が集まるだけではなく、世界各国から多くの観戦客や大会関係者が来訪する。

これをまたとない絶好の機会と捉え、おもてなしアクションプランに基づきプロモーションやイベントを実施し、本市の魅力を国内外に発信していくとともに観光・経済・スポーツ・文化・教育の振興を図り、レガシーを創出する。

2. おもてなしアクションプランとは

「さいたま市が目指すおもてなしビジョン」に基づき、東京2020大会に向けて、本市の観光、国際交流、スポーツ、文化芸術、教育等の振興を推進するとともに、本市の魅力を世界にアピールしていくことを目的として、2020年までに官民一体となって実施していくべき取組のアイデアをまとめたプラン。

<さいたま市が目指すおもてなしビジョンとは>

平成27年度「職員提案」、「タウンミーティング」、「市民アイデア募集」、「学生政策提案」で収集した市民等からの意見やアイデアを踏まえて、東京2020大会に向けた**コンセプト**と**4つの目指すべき方向性**を整理

コンセプト 市民みんなで世界につなげよう O・MO・TE・NA City SAITAMA

方向性Ⅰ 東京2020大会の円滑な開催に繋がる支援策の推進

市内で開催される2競技が円滑に実施できるよう、大会支援策を検討・推進。

方向性Ⅱ スポーツ・文化・教育の振興及び普及

あらゆる世代がスポーツに親しむとともに、文化の祭典として文化芸術の振興を促し、子どもたちには英語教育を実施してグローバル人材を育成する取組を検討・推進。

方向性Ⅲ 地域資源を活用した観光・経済振興

本市の地域資源を最大限活用し、官民連携での「おもてなし」に取り組むとともに、市内企業の技術力など、本市の魅力を余すことなく発信していく取組を検討・推進。

方向性Ⅳ 大会レガシーの継承

大会に向けた取組を一過性のものとせず市民に未永く親しまれ、大会レガシーとして継承されるような取組を検討・推進。

3. おもてなしアクションプランのテーマ及び取組案

各方向性の実現に向けて12テーマを設定し、官民連携のワーキンググループで取組を検討

No.	テーマ	取組方針	No.	重点的に実施すべき取組案
1	熱中症対策	日本らしさ・さいたま市らしさを取り入れた涼しさの提供 人々が涼める場所の提供 熱中症予防を周知・啓発・サポートする仕組みづくり	1	打ち水イベントの実施
			2	日本らしい納涼グッズの配布
			3	クールスポット設置
			4	熱中症対策サポーターの設置
2	外国人急患対応	外国人急患をサポートできる人材の確保・育成	5	外国語・医療系の学生によるボランティア配置
3	多言語対応	様々な言語による案内の実施 言語以外による情報伝達	6	飲食店におけるメニュー表の多言語化
			7	多言語標記による施設利用案内マップガイドの作成
			8	デジタルサイネージを活用した案内・紹介
4	会場周辺の環境整備	会場周辺の快適さを高める環境整備 会場周辺の快適さを高めるための活動の実施	9	ピクトグラムを活用した表示
			10	分煙環境の整備
5	会場アクセス	公共交通の快適性・利便性の向上 会場へのアクセスとあわせた市内回遊策の向上	11	会場周辺での宿泊先の提供
			12	次世代バス（EV・FCVバス）の導入
			13	コミュニティサイクルの有効活用
			14	市内の主要観光スポットを巡るバスの運行
6	スポーツ振興	スポーツイベント実施による市民への参加機会の提供	15	気軽に参加できるスポーツイベントの開催
7	オリ・パラ教育の推進	小・中学校での東京2020大会に関する授業の実施 様々な人々との交流を通じた教育の推進	16	オリンピック・パラリンピックに関する教材の活用
			17	小・中学生と訪日外国人との交流
			18	国内選手による小・中学校の訪問
8	文化プログラムの推進	会場やその周辺でのさいたま市の文化の発信	19	さいたま市における文化展示の実施
9	気運醸成	選手の魅力を身近で体感できる機会の提供 食を通じた気運の醸成 イベント開催等による気運醸成	20	街なかでの選手による試合の開催
			21	地域の食の魅力を伝えるイベントの開催
			22	競技会場周辺等におけるイベント等の開催
10	ボランティア検討		23	ボランティア人材の募集・確保・管理
11	ICT化推進		24	街なかでの地域情報の提供
12	事前合宿・ホストタウン		25	ホストタウン相手国選手等と市民とのスポーツ・文化交流

4.対象

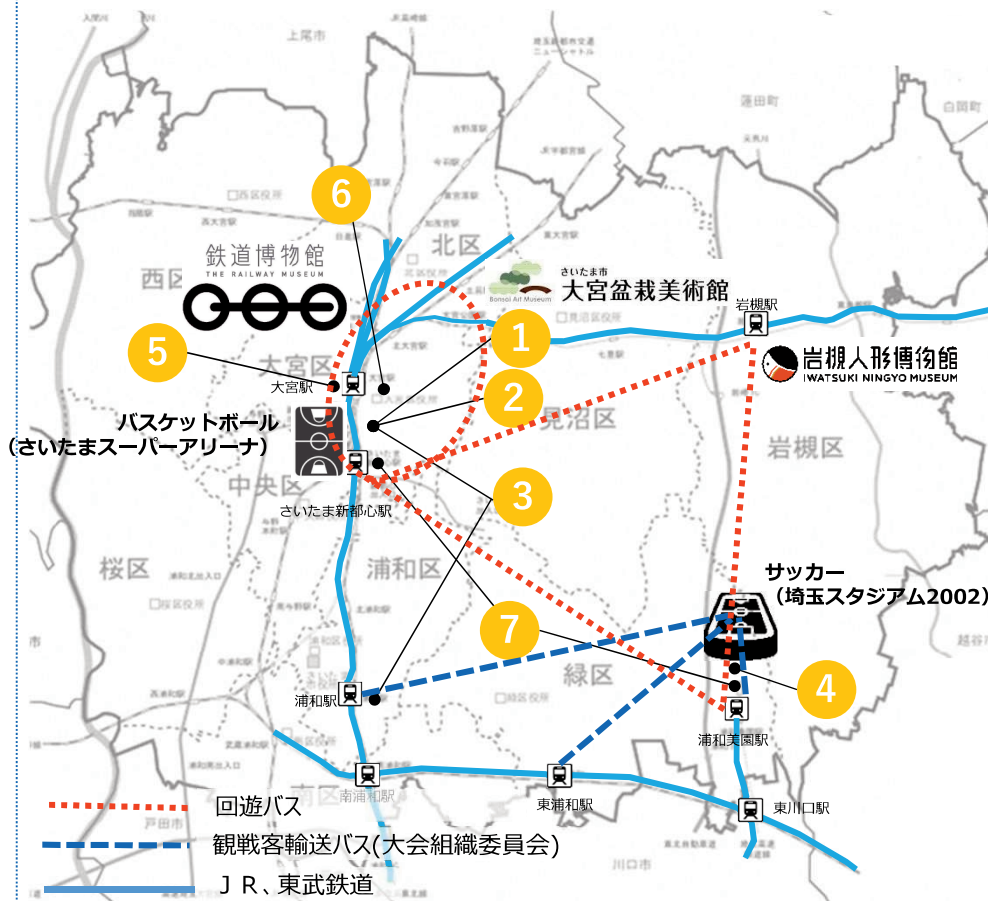
◎ 想定来訪者数 (観戦客・大会関係者・メディアの想定人数)

約160万人 ⇒ 東京都に次ぐ来訪者数

(うち外国人は2~3割となる32~48万人)

本市が**これまでに経験したことのない規模の国際的イベント**

5.市内回遊イメージ及びイベントマップ



6.イベント概要

※ 査定対象事業

(人)

No.	事業名	事業概要	集客人数 (見込み)
1	氷川参道おもてなし事業	・大宮の地域資源を活用し、市のPRや競技開催会場としてのおもてなしの取組を実施します。 ・さいたま新都心と大宮の一体的な都心としての連携、氷川参道の歩行環境の改善や公共施設再編の実現に向けて、賑わいや回遊性の向上につながる方策の検証を行います。	7,200
2	氷川参道おもてなし事業と連携したBMXイベント開催事業	・東京2020大会の正式種目であるBMXやフリースタイルバスケートボール等のアーバンスポーツイベントを開催します。	
3	東京2020大会パブリックビューイング開催事業	・パブリックビューイングを行い、日本代表選手が出場する試合を市民が一丸となって応援します。	7,620
4	大門上池調節池底面広場を活用したおもてなし事業	・大門上池調節池底面広場を活用し、市のPRや競技開催会場としてのおもてなしのイベントを開催します。	18,000
5	日本酒PRイベント開催事業	・東日本各都市との連携による日本酒PRイベントを開催します。	5,000
6	まるまるひがしにほんを活用した謎解きツアー開催事業	・市内スポットを周遊する謎解きツアーを開催します。	160,000
7	東京2020大会を活用した市の魅力発信事業	・競技会場周辺で本市の伝統文化等に関する展示等を実施します。 ・本市の伝統文化等に関する映像を制作し、上映します。 ・外国人向け情報誌に本市記事を掲載し、訪日・在日外国人に向けて広く情報発信を行います。	1,600,000